

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

休み時間、なわとびのにじゅうとびをれんしゅうした。一回とぶ間に、なわを二回回すとびかただ。

クラスでできないのは、もうぼくとけんじくんだけだった。何回やっても、なわは足に引っかかる。

「高くとべば、いいんだよ。」

できる友だちは、そう言う。でも、高くとぼうとすると、こんどは、なわを回すのがおそくなる。

となりでは、けんじくんもれんしゅうしていた。けんじくんも、なかなかできない。ぼくは、けんじくんのとぶところを見ていて、気がついた。けんじくんは、とぶ前に下を見ている。だから、せなかが丸くなって、高くとべないのだ。

「けんじくん、前を見てとんでみて。」

けんじくんは、前を見てとんだ。

ひゅんひゅん。

なわが、二回、足の下を通った。

「できた。」

けんじくんが、目をまるくした。

「ありがとう。じゃあ、こんどは、きみの番だよ。」

けんじくんは、ぼくのとぶところを、じっと見てくれた。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) にじゅうとびとは、どんなとびかたですか。「とびかた」につづくように、文しょうから十五字までで書きぬきましょう。

一	回	と	ぶ	間	に	、	な	わ	を	二	回	回	す	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

(二) ぼくは、けんじくんのとぶところを見て、何に気がつきましたか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア なわが、長すぎること。

イ とぶ前に下を見ているので、せなかが丸くなっていること。

ウ くつが、大きすぎること。

イ

(三) けんじくんが前を見てとぶと、なわはどうなりましたか。文しょうから十字までで書きぬきましょう。

二	回	、	足	の	下	を	通	っ	た
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(四) さいごに、けんじくんが、ぼくのとぶところをじっと見てくれたのは、なぜだと思いますか。三十五字までで書きましょう。

	う	こ
	に	ん
	手	ど
	っ	は
	だ	自
	い	分
	た	が
	い	、
	と	ぼ
	思	く
	っ	が
	た	で
	か	き
	ら	る
	。	よ

【小2】国語 文章問題 物語文 3 答えと解説

問一（二十五点） 答え：一回とぶ間に、なわを二回回す

解説：一つ目のまとまりの二つ目の文から。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：「ぼくは、けんじくんのとぶところを見ていて、気がついた」のあとの文から。

問三（二十五点） 答え：二回、足の下を通った

解説：「ひゅんひゅん。」のあとの文から。にじゅうとびができた。

問四（二十五点） 答えの例：こんどは自分が、ぼくができるように手つだいたいと思ったから。

解説：けんじくんは「こんどは、きみの番だよ」と言っている。教えてもらったおれいに、こんどは自分がたすけたいと思っている。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①ぼくに教えてもらって、できるようになった

②こんどはぼくができるように手つだいたい